

令和2年2月14日

足立区立扇小学校

校長 加納 和彦 様

足立区立扇小学校 開かれた学校づくり協議会

会 長 福田 健次

令和元年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

令和元年度の区学力調査で、目標とした通過率に2.5%届かなかったことは残念である。今年度の学力向上アクションプランの徹底と中身の吟味をして欲しい。また、産休・育休代替教員が長い期間不在で、副校長が担任をしていると聞いている。授業力向上も学級経営の安定も、万全な組織体制が重要であると強く感じる。

開かれた学校づくり協議会の委員が正門前で行っている挨拶活動の時、挨拶当番の学年はよく声を出しているが、登校してくる子供は元気よく挨拶をすることができていない。いつでも挨拶を実践できるように指導して欲しい。

小中連携事業において、近隣の小中学校4校で行う「ふれあいコンサート」を今年度も実施した。扇小学校からも有志児童が合唱隊として多数参加した。扇小創立50周年記念事業実行委員会からいただいた「50周年Tシャツ」を全員が着用して、学校としてのまとまりのある発表だった。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

・重点課題1について

今年度4月の学力調査の結果は、目標としていた75%よりも2.5%低かったが、9月の再調査では81.6%だったとの報告があった。この間の補習教室やサマースクールまでは、ある程度の結果が出せている。9月以降は産休代替教員がいなかったり途中で退職したりして、授業がきちんと成立しているのか、子供達は落ち着いて生活しているのかと、委員の中からも不安視する声が出ていた。学力向上とともに学級経営の安定について組織的な実践を充実させて欲しい。

・重点課題2について

扇小学校の卒業生が、オリンピック東京大会のトランポリン日本代表に決まったことは嬉しいニュースである。母校を誇りに思うとともに、児童一人一人の夢の実現に向けて、その可能性を見つけて育てて欲しい。

・重点課題3について

9月からタブレットPCを使った授業をしているとの報告があった。若い教員を中心として授業力向上に生かして欲しい。また、プログラミング教育が4月から新しく始まるそうだが、新しい教育活動においてもベテランや管理職が若手教員をしっかりと育てて欲しい。

・重点課題4について

江北桜中学校は、校舎が元の江北中の場所に新校舎が完成して扇小との距離が近くなった。連携活動をはますます充実させて欲しい。同じ地域にある高野小学校・江北小学校との連携事業や、地域行事についても開かれた学校づくり協議会とともにますます充実させていきたい。

3 その他

今年度、扇小学校創立50周年の記念事業を行った。その準備を早めに計画・実施するように求めたが、計画やその周知が常に遅れていた。周年のような大きな行事においては地域と学校・保護者がチームワークよく活動することが大切であり、今後は早めの計画・周知を徹底していただきたい。